

2013 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	教授
氏名	宮丸 裕二		
NAME	Yuji Miyamaru		

1. 研究課題

(和文) チャールズ・ディケンズの自伝と伝記の関係に関する研究

(英文) Research on autobiographical and biographical writings of Charles Dickens

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

(和文)

ディケンズの自伝と自伝的小説と伝記とを対象として、ディケンズがどのような自己表象をどのような方法で行ったのかを考察してきたが、今回はディケンズが出版のかたちで発表するべく残したテキストの考察ではなく、文壇の中で自分および他の作家のプロデュースを通じて自らにどのようなプレゼンスを与えようとした意図をみることができるのか、手紙などの公開用でないテキストおよび他の作家との比較から検証を行った。

特に注目したのは、ヴィクトリア朝の小説の黄金時代を特徴付ける「社会問題小説」というジャンルである。当時の文壇での地位や社会への影響力を補償したのがこのジャンルに属する作品の執筆でもあったが、同時に流行でもあった。ギヤスケルを文壇に紹介しつつ、作家としての安定的な立場を与えるプロデュース業を行うかたわらでディケンズが自らも社会小説の作品を残すことができるように新人のギヤスケルから多くを学ぼうとしている姿勢が調査によって明らかになる。同時に、社会問題といえどもディケンズにとってはセルフプロデュースの手段の一つに回収されることが分かるとともに、それだけ自らの表象提案が執筆内容にもまして重要となる時代の側面を明らかにした。

(英文)

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>宮丸裕二、「社会小説家と社会的な小説家—ディケンズとギャスケルのセルフプロデュース」、 『ギャスケル研究』、査読あり、第25号（2015年）[掲載予定]</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>宮丸裕二、「社会小説家と社会的な小説家—ディケンズとギャスケル」、日本ギャスケル協会、 明治大学、2014年10月</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>